

なないろ

nanairo

なないろの喜びと笑顔を
みなさまにお届けします。

春夏

vol.3



photo: 山崎 繁喜

今号の1枚 さようなら原発・核燃3.11青森集会 (2面で紹介)

原発事故に遭遇した福島の方々の思いに心を寄せた時に
「故郷を元に戻せ！仕事や家族を元に戻せ！」私たちは福島を忘れない！

東日本大震災 福島原子力発電所事故 から6年

太陽がいっぱい。風がいっぱい。世界はもう自然エネルギーで動いている。

3月5日(日)、青森市で行われた「さようなら原発・核燃3.11青森集会」に参加しました。

河合弘之弁護士(映画監督「日本と原発」)の特別講演「原発再稼働と自然エネルギー」では、「世界の流れは自然エネルギーに傾いている。一方、日本では原子力再稼働に動いている。20年で原子力発電所は世界からなくなる。その理由として東芝がアメリカでの原発建設事業から莫大な損失をもたらしている。儲からない事業となり20年後は自然エネ

ルギーになる。その20年の間に原子力事故を起こすかも知れない。だから原子力を再稼働させない。させてはならない！」と仰られていました。

原子力発電がなくても、全国の電力を満たしていた事は立証されています。世界を駆動させるのは溢れる自然の力なんだと確証を得て、青森市街を堂々と行進してきました。

「原発廃止！未来に希望を！」

社会福祉法人虹 本部 事務局長/山崎 繁喜



写真(中央)提供/社会福祉法人わたり福祉会

避難生活での分断、故郷を追われるということ

放射線という目に見えないものにおびえ、当たり前な生活がガラリと変わってしまうことを想像できるでしょうか。原発事故によりこれまで築きあげてきたものが一瞬にして奪われ、『強制避難』を強いられ、仮設住宅や新たな土地での生活がようやく慣れてきたところで、今年3月末には帰還困難区域を除くほとんどの自治体の避難指示が解除されました。今度は半ば『強制的に帰還』を強いられる事態になっています。

安心のできる生活を守るため

原子力発電所がある限り、安心して生活を送ることはできません。同じ過ちを繰り返さない。私たちは原発事故を風化させることなく「原発NO!」を発信し続けています。

青森の皆さん、原発のない平和な暮らしを一緒に築き上げていきましょう!「未来に向かって一番大切なことは何ですか」を共に考えていきたいと思っています。

社会福祉法人わたり福祉会 特別養護老人ホーム はなしのぶ/篠谷 衛

➡ 社会福祉法人わたり福祉会

老健・特養・デイサービス・訪問介護・ケアハウス・居宅介護支援事業所・地域包括支援センターの高齢者介護福祉事業と保育事業を行なっています。法人のある福島市は福島県の北部、福島第一原発から約60kmに位置します。



【料理教室】

りょうりきょうしつ



ほのぼの寮では週3回料理教室を行っています。メインのメニューは利用者様と一緒に考案していますが、バランスが偏らないように、副菜や汁物で栄養の調整をしています。味付けから盛り付けまで代わる代わる調理していきます。寮の畑で収穫された食材も貴重な食材となり、料理教室に大活躍です。利用者様の誕生日にはリクエストに答えてデザートがつくこともあり

ます。みんなで作って、みんなで食べる昼食はとても美味しいです♪

寮の畑で収穫した大根 



ほのぼの寮 生活支援員/太田 琴乃



1 節分に向けての小グループ活動



1 田んぼアート見学

事業所紹介 自立訓練所ほのぼの寮

自立訓練所ほのぼの寮は、精神障がい者の方を対象に、自立したいけど自信がない・入院生活が長くていきなりアパート生活は不安な方などが、安心して地域で生活できるように、共同生活をしながら日常に必要な生活技術の獲得・社会資源の活用などを目指して様々なことを体験する事業所です。

ほのぼの寮で行っているプログラムは午前が集団援助(グループワーク)、午後が個別援助です。月曜日と木曜日は少人数(6~8名)に分かれて活動の幅を広げる小グループ活動を行っています。個人での援助とはまた違った、少人数だからこそ発揮できる力を活用することで、周囲との関わり、周りとの協調性等を身に付けていけるよう支援していきます。活動内容も利用者様と話し合いを重ね一緒に決めていきます。デパート、回転ずし、図書館や美術館など様々な場所へ行き、地域へ積極的に出て社会資源を学んでいます。地域の資源を学ぶだけでなく、複数の仲間と一緒に体験することで、一人ではできないことも挑戦することができます。

ほのぼの寮 生活支援員/太田 琴乃



福島の子どもたちを放射能から守るプロジェクト・青森



昨年の青森保養には、福島県から総勢21名(大人8名)が参加しています。青森郊外にある、自然豊かな「まきば保育園」で保育園の園児たちと一緒にのびのび元気いっぱい過ごしました。絵や音楽のイベント、青森ねぶたの観覧、跳人(はねと)としてねぶた参加「のつけ井」を食べたり楽しい時間を過ごしました。

今年も8月1日から4日まで保養を企画しています。保養に来たご家族を迎えるためのボランティアをして下さる方を募集しています。詳細は下記までご連絡下さい。



保養プロジェクト@あおもりブログ <http://ameblo.jp/hoyoaoomori/> お問い合わせ先(さくまのぶひこ) 090-8784-2034
写真提供/保養プロジェクト@あおもり

新入職員 ご紹介



今年度は新卒採用者3名と、正職員転換試験より3名、合計6名を正職員として迎えました。
6名全員の意気込みを紹介します。(50音順)



ショートステイ 虹の郷

介護福祉士 飯田 麻了 いいだますみ

介護の仕事に就いて13年が過ぎました。今年は健康的な体づくりを目標に運動や青汁に挑戦します！笑顔を忘れず皆様と楽しい時間を過ごせるよう頑張ります。



ヘルパーステーション はるかぜ

介護福祉士 長利 晃助 おさりこうすけ

ただいま緊張でいっぱいなのですが、出来る事は積極的に行き、先輩方の助言等も大切にしながら利用者の皆様の心に寄り添える職員になりたいです。



ショートステイ 虹の郷

介護福祉士 川畑 篤矢 かわはたあつや

今年20歳になりました。人のためになれるように働きたいという想いがあります。また、社会人としての自覚と責任感を持ち行動しなければならないと思っています。



ショートステイ 虹の郷

看護師 黒川 奈津美 くらかわなつみ

毎日学ぶことばかりです。利用者様の健康管理や在宅とショートでの生活を、ご家族と一緒にその人らしさを大切に継続できるようにお役に立てるよう頑張ります。



ヘルパーステーション はるかぜ

介護福祉士 佐々木 大志 ささきひろし

西館1階のサービス提供責任者をしています。明るく、笑顔をモットーに利用者様の円滑なプラン提供の為に頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



ヘルパーステーション はるかぜ

介護福祉士 棟方 陽子 むなかたようこ

これまでの経験と、学んできたことを活かし、利用者様のより良い生活を支援するため、鋭意努力して参ります。宜しくお願いします。



●ご意見・ご要望をお待ちしております。

この機関誌に関する、ご意見・ご要望、読者様の俳句・川柳・その他ご趣味などがございましたら、ぜひ下記までお寄せ下さい。



なないろ vol.3 2017年5月発行(次回発行予定 2017年7月) 発行部数/1,100枚 発行責任者/山崎繁喜

発行元/社会福祉法人「虹」 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目15-10 TEL 017(738)1133 <http://nijiweb.net/>

配布先/社会福祉法人 虹 本部・デイサービス虹のひろば・デイサービス虹のひろば新城・ショートステイ虹の郷・ヘルパーステーションはるかぜ
・居宅介護支援事業所 野いちご・地域活動支援センター八甲・自立訓練所 ほのぼの寮・グループホームあおぞら